

特集号

5/20

令和6年(2024年)

北区ニュース



防災特集



北区防災ポータル・
北区防災アプリ

北区マンション
防災マニュアル

知る、学ぶ、備える
地震特集

地域の特性を理解する
風水害特集



東京北区渋谷栄一プロジェクト
広報キャラクター
しぶさわくん

令和6年3月

北区地域防災計画を改定しました

北区地域防災計画とは？

北区地域防災計画とは、災害対策基本法に定める範囲で、北区の自然的条件や過去の災害などでの教訓を踏まえ、あらゆる自然災害に対応する総合計画であり、災害対策基本法に基づき、東京都北区防災会議が策定する計画です。

この計画では、地震などによる災害から一人でも多くの命や貴重な財産を守るために、①「自らの生命は自らが守る」という「自助」の考え、②区民が地域の中で相互に助け合うことによって「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の考え、この二つの考えに立つ区民と「公助」の役割をもつ行政が、それぞれの責任と役割を明らかにしたうえで、連携を図っていくという考え方を基本理念としています。

北区では、区民や自主防災組織をはじめ、防災関係機関、事業者などが総力を結集して、連携を図ることにより、「自助」「共助」「公助」を実現し、区民の生命や財産を自然災害から守ることに努めてまいります。

改定のポイントは
2面へ

北区地域防災計画改定のポイント

◆改定の主な項目

①災害対応のデジタル化の推進

円滑な災害対応を実現するため、災害情報を一元管理できる新しい災害情報システムなどを導入します。

②風水害対策の強化

避難情報、体制の見直し、避難行動方針の策定を行いました。

③災害種別により避難対策・体制の明確化

基本的な避難行動のイメージを刷新し、風水害の類型に応じた避難の考え方を更新しました。

④多様性に配慮した防災対策

非常時における「女性、子ども、障害のある方、外国人、性的少数者等」に対する具体的な支援の例を明記しました。

⑤感染症に対応した避難所運営など

避難所における感染症拡大防止を目的とした避難所運営の項目を新設しました。

⑥さまざまな災害対策・複合災害への対応

火山噴火や大規模停電など地震以外の災害や、複数の災害が同時に発生する「複合災害」に関する章を新設しました。

◆減災目標の設定

東京都地域防災計画(令和5年5月改定)において、「減災目標」と「目標を達成するための施策」などが示されました。北区でも、減災目標などの達成に向けて取り組んでいきます。

地域防災計画についてもっと知りたい!

北区ホームページ「東京都北区地域防災計画(震災対策編・風水害対策編)令和6年3月改定」をご覧ください。

[HP https://www.city.kita.tokyo.jp/bosaikiki/bosai/keikaku.html](https://www.city.kita.tokyo.jp/bosaikiki/bosai/keikaku.html)



東京都北区
地域防災計画

【減災目標】 2030年度(令和12年度)までに、首都直下地震等による人的・物的被害をおおむね半減する。

減災目標の達成指標例

例1

自助の備えを講じている区民の割合：100%

各種媒体を活用し、区民が自ら考え、各家庭における備蓄などの防災対策が万全になる取組を推進

例2

家具類の転倒・落下・移動防止対策：75%

各種普及啓発ツールの活用などにより、家具類の転倒防止等対策を促進

北区防災ポータル・北区防災アプリ

◆北区防災ポータル

北区の防災情報専門のポータルサイトを北区ホームページとは別に開設しました。避難情報発令や避難所の開設、混雑状況などを確認することができます。また、防災気象情報、公共交通機関の運行状況、停電・断水等の状況や防災無線の内容も8月以降確認できます。

◆まずは北区防災ポータルへ

北区防災ポータルへのリンクや北区防災アプリのダウンロード先など各種情報を北区ホームページで提供しています。

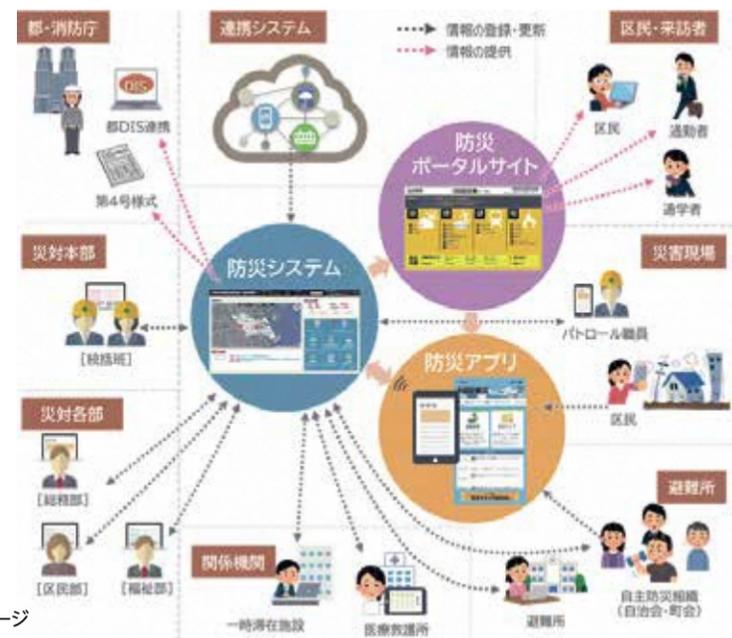
右記コードから、まずは北区防災ポータルを確認しましょう。なお、北区防災アプリは夏頃の配信を予定しています。



北区防災ポータル・
北区防災アプリ紹介ページ

◆北区防災アプリ

新たに北区公式防災アプリの配信を開始します。スマートフォンなどにダウンロードすることで、北区防災ポータルとほぼ同様の情報を確認できるとともに、プッシュ通知により、緊急情報をリアルタイムで確認できるようになります。



区民、帰宅困難者は常に最新の各種情報を手元の端末で確認可能

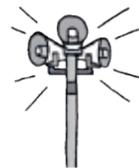
PC、タブレット、スマホなど機器を選ばない情報収集
映像等を含め、リアルタイムな情報報告

正確な情報を得るために北区防災ポータル、北区防災アプリのほか、以下の方法でも情報を得ることができます。

◆防災行政無線

区内にある防災行政無線スピーカーから流れる情報が聞こえにくかった場合は、「自動電話応答サービス」で内容を確認することができます。

☎0120(061)724



◆報道機関テレビ・ラジオ

テロップ・L字放送のほか、地上デジタル放送(データ放送)ボタンから気象・災害・河川情報などの確認ができます。

◆北区メールマガジン

北区が発令する避難指示や、防災情報・気象情報などを電子メールまたはLINEで受け取ることができます。



登録サイト

◆北区防災気象情報サイト

防災情報などをお知らせします。
[HP https://www.micosfit.jp/kita-city/](https://www.micosfit.jp/kita-city/)



北区防災気象
情報サイト

北区マンション防災マニュアル

突然起こる大地震に備え、マンション(分譲や賃貸マンション、区営や都営住宅などの集合住宅)における防災対策を事前に講じておくことは、被害を減少させることにつながります。

本マニュアルでは、震災時におけるマンション特有の問題や対策を示していますので、ぜひ、本マニュアルを参考に各マンションで防災対策を講じていただくことをお願いします。

また、防災セミナー事業を実施しています。専門知識を持つ講師を無料で派遣していますので、あわせてご活用ください。

[HP https://www.city.kita.tokyo.jp/chiikibosai/documents/mansion.html](https://www.city.kita.tokyo.jp/chiikibosai/documents/mansion.html)
[HP https://www.city.kita.tokyo.jp/chiikibosai/bosai/documents/bosaiseminar.html](https://www.city.kita.tokyo.jp/chiikibosai/bosai/documents/bosaiseminar.html)

※北区マンション防災マニュアルについて、一部のページに誤りがございました。上記の北区ホームページにて、訂正力所についてお知らせしております。



北区マンション
防災マニュアル



防災セミナー





地震について 知る、学ぶ、備える

令和6年1月1日午後4時10分、最大震度7を観測した能登半島地震から4カ月が経ちました。能登半島地震では多数の死者や負傷者が出たほか、建物の倒壊や火災、津波、道路の寸断、断水など、甚大な被害が発生しました。今後30年間に首都直下地震が70%の確率で起きると言われています。一方で、建物を耐震化して火災対策を徹底すれば被害を大きく減らせる可能性があります。自分や大切な人の命を守るため、なにができるか考えてみましょう。

学ぶ

◆北区防災センター(地震の科学館)へ行ってみよう

北区防災センターでは地震や煙の体験のほか、スタンドパイプやD級可搬消防ポンプを使った消火訓練、応急救護訓練、救出救護訓練などさまざまな防災メニューを用意しています。

防災訓練のご予約・ご相談は電話でお申し込みください。

問場先 北区防災センター(西ヶ原2-1-6) ☎(3940)1811



防災センター
ホームページ



スタンドパイプを使った消火訓練の様子

備える

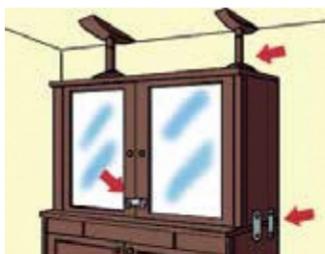
☑️以下の項目を確認しましょう

☐ 家庭内に備蓄はできている?

ライフラインや物流が停止した場合に備え、ご家庭に生活用品の備蓄をしましょう。普段使用している食料品や生活必需品を日常的に少し多めに備えておく「**日常備蓄(ローリングストック)**」がおすすめです。日常の中に備蓄の仕組みを取り入れることで、無理なく災害時に活用することができます。最低3日分、できれば1週間分の備蓄品を用意しましょう。あわせて、避難するときに持ち出せる量の非常食や生活用品などをリュックなどにまとめておきましょう。備えておく品目は家族構成や生活スタイルによって工夫しましょう。

☐ 家具転倒防止をしている?

大きな地震が起きると、屋内の家具が倒れたり、落ちてきた家具によって避難路をふさいだり、下敷きになってしまうなどケガにつながります。各種防止対策器具類の取り付けや家具の配置を工夫しましょう。



◆災害時のごみと日頃の備え

大きな災害が発生すると、大量のごみが出ます(令和6年能登半島地震では、珠洲市で約132年分に相当するごみが出ると推計されています)。

不用なものをあらかじめ処分しておくことで、災害時のごみを減らすことにつながります。また、家具や電化製品は固定するなどして転倒しないようにすることで破損を防げます。

災害時の早期復旧、復興のため、日頃の備えが大切です。

問リサイクル清掃課
☎(3908)8538

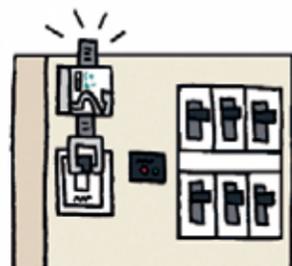


出典:災害廃棄物対策フォトチャンネル

HP http://kouikishori.env.go.jp/photo_channel/

☐ 防火対策はできている?

大きな地震が起きたときには、火災の発生を阻止すること・拡大させないことが大切です。住宅用火災警報器や、強い揺れで自動的にブレーカーを落として、電力復旧時に発生しやすい通電火災を防ぐ感震ブレーカーを設置し、早期発見や発生防止のための備えをしておきましょう。



主な備蓄品の例

- 主食(乾麺、レトルトご飯など)、主菜(レトルト食品、缶詰など)、飲料水(1人1日3L)、菓子類(チョコレートなど)
- 生活用品(ゴミ袋・大型ビニール袋、ラップ、トイレトペーパー・ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、生理用品、使い捨てカイロ、ライター)
※粉ミルク、離乳食、おむつ、おしりふき、ペット用品(必要な方のみ)
- 簡易トイレ(1人1日7~8回)、厚手のゴム手袋、懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー



知る

◆避難場所と避難所って何がちがうの?

避難場所

災害時に拡大する火災から、身を守るための場所です。

公園や河川敷、広場など、大きく開けた場所が該当します。



避難所

災害で火災や家屋倒壊などにより住めなくなった方が一定の期間、生活する場所です。

支援活動の拠点となり、主に区内小・中学校などが該当します。



●ペットと一緒に避難できるの?

北区では、避難所(区内小・中学校など)が開設された場合、飼育しているペットを連れて避難(同行避難)することが可能ですが、盲導犬・介助犬・聴導犬などの補助犬を除き、避難所の居住スペースに連れていくこと(同伴避難)はできません。避難所には必要最低限のペットフードなどの備蓄品がありますが、数には限りがあるため自助の視点から飼い主に用意をお願いしています。

ペットは飼い主にとって大事な家族ですが、それと同時にアレルギーを持っている方などに配慮する必要があります。ケージ(檻)に入れ、リードでつなぐなどし、避難所運営者の指示に従ってください。



◆区内の避難場所と避難所がどこにあるかを知るにはどうしたらよいの?

「北区防災地図」を確認しましょう。地図上で避難場所や避難所の位置を知ることができます。

「北区防災地図」は北区ホームページで閲覧できるほか防災・危機管理課(区役所第一庁舎2階3番)、広報課(区役所第一庁舎3階1番)、区政資料室(区役所第一庁舎1階)などで配布しています。

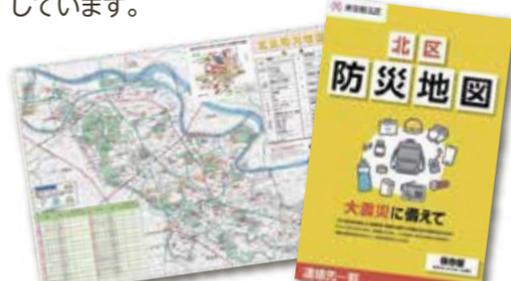
また、北区ホームページでは避難所一覧を公開しています。



北区防災地図



避難所一覧





地域の特性を 理解する

北区には、荒川をはじめ、石神井川などさまざまな規模の河川が流れています。台風などで大雨が降ると河川氾濫などの水害を引き起こす可能性があり、大規模水害時には2週間以上も水が引かない地域もあります。水害は地震とは違い、災害の発生を予想することができるので、地域の特性を知り、日頃から備えましょう。

大規模水害時の避難の考え方って？

◆荒川氾濫と石神井川氾濫・土砂災害の違い

[荒川の氾濫]

大型台風などにより荒川流域に記録的な大雨が降った場合、低地部の大部分が2週間以上にわたって浸水する可能性があります。

[石神井川、新河岸川等の氾濫]

各河川の流域で集中豪雨が発生した場合などに氾濫の可能性があります。

[土砂災害(崖崩れ)]

区内にはおよそ100カ所の土砂災害警戒区域があり、強い雨に打たれることなどにより、斜面が突然崩れ落ちる可能性があります。

[その他]

多量の雨などにより、排水能力が追い付かず下水道から水があふれる内水氾濫(道路冠水等)も起こります。



◆警戒レベル

住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動をとれるよう、避難情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えしています。

危険を感じたら自主的に避難するように心がけ、警戒レベル4「避難指示」までに、危険な場所からの避難を完了してください。



◆基本方針

荒川の氾濫などの大規模水害に備え、避難行動のあり方を整理した「東京都北区大規模水害を想定した避難行動の基本方針」を令和2年3月に策定しました。

「大規模水害時の避難行動の基本方針」 ～避難の心得五か条～

1. 自立して避難しましょう。
2. 災害を知りましょう。
3. 自宅にとどまらず、できるだけ遠くの高台に逃げましょう。
4. 本当に必要な人のために、車避難は避けましょう。
5. 誰ひとり取り残されないようにするために、周囲の人に手を差し伸べましょう、差し伸べてもらえるようにしましょう。

北区からの宣言

北区は全庁をあげて、支援を行います。

◆水害リスクの把握(各種ハザードマップ)

ハザードマップでは、国や東京都が指定した「洪水浸水想定区域図」や「土砂災害警戒区域」などにに基づき、河川が氾濫した場合の浸水想定や土砂災害の危険性がある場所を示しています。

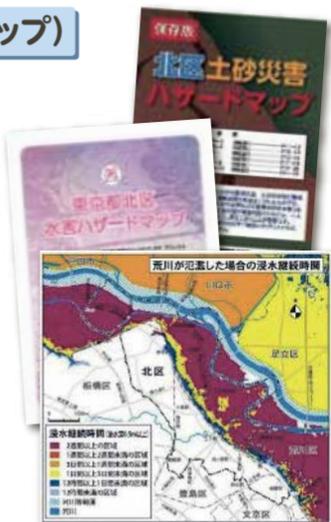
お住まいの地域に危険がないか、避難場所や避難経路について確認しましょう。



水害ハザードマップ
解説動画
基礎編



水害ハザードマップ
解説動画
実践編



マイ・タイムライン/コミュニティ・タイムライン を作成しましょう!

水害発生に備えて、避難行動を整理した計画である「マイ・タイムライン」の作成講座を北区では、実施しています。どのタイミングで何をするかをあらかじめ整理しておくことで、いざというときに落ち着いて安全に避難できることを目指しています。



マイ・タイムライン作成講座の様子



マイ・タイムラインを地域で普及していただけるリーダーも募集しています。

また、自助であるマイ・タイムラインに対し、共助として地域の避難行動を定めた「コミュニティ・タイムライン」の作成支援ワークショップ開催し、実施地区に全戸配布しました。



令和4年度は堀船地区、令和5年度は豊島地区、浮間地区で作成しました!
今後も作成地区拡大予定です。

避難行動要支援者名簿

高齢者や障害のある方のうち、災害が発生した時に自分の力で避難することが困難で、特に支援が必要な方を対象に「避難行動要支援者名簿」を作成し、安否確認や避難支援ができるよう取り組んでいます(特別養護老人ホームなどに入所されている方を除く)。名簿への記載にご同意いただいた方は、【平常時】の名簿に記載され名簿情報を避難支援等関係者(警察署、消防署、自主防災組織(町会・自治会)、民生児童委員、高齢者あんしんセンター)へ名簿活用の手引きとともに提供します。

名簿への記載にご同意されない方も、区のみが保管し災害時に活用する【災害時】の名簿に登録されます。



個別避難計画

「個別避難計画」とは、災害時の避難に支援が必要な方、一人ひとりについて、災害が発生した際、少しでもスムーズに避難が行えるよう、あらかじめ避難の仕方を決めておく計画のことです。

北区では、令和4年に策定した「北区大規模水害避難行動支援計画」に基づき、「北区避難行動要支援者名簿」に登録されている方のうち、荒川浸水想定区域内にお住まいの方を対象として個別避難計画の作成を行います。

また、個別避難計画の作成には多くの時間を要するため、すぐに作成に取りかかることができない方向けに、「北区避難行動要支援者用マイ・タイムライン」を作成していただき、個別避難計画の代替とする計画となっています。



北区大規模水害
避難行動支援計画



個別避難計画



避難行動要支援者用
マイ・タイムライン